

臨床研究「東北労災病院における肥満症患者に対する栄養指導の有用性と課題についての後ろ向き観察研究」についての情報公開

本施設で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

なお、情報が当該研究に用いられることについて、研究の対象となる方(あるいは代理人の方)にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

研究課題名	東北労災病院における肥満症患者に対する栄養指導の有用性と課題についての後ろ向き観察研究
研究責任者氏名	高橋 賢一
研究機関長名	東北労災病院院長 井樋栄二
研究期間	2026 年 9 月（研究機関の長の研究実施許可日以降） ～2027 年 12 月 31 日
研究の対象	以下に該当する患者さんを研究対象とします。
	研究対象者登録期間：2025 年 10 月 1 日～2026 年 4 月 30 日まで
	上記期間中に東北労災病院に入院し、かつ栄養サポートチーム（NST）による回診や栄養サポートなどの治療介入を受けた患者さん。
研究に用いる 試料・情報の種類	☐ 試料等 ☒ カルテ情報 ☐ アンケート ☐ その他（ ）
	取得の方法： ☒ 診療の過程で取得 ☐ その他（ ）
研究目的・意義	近年、本邦において肥満者の割合は増加傾向となっています。なんらかの健康被害を伴う肥満症患者に対する新薬や手術など治療の選択肢が広がっており、医療機関を受診する患者さんも増えています。肥満症の患者さんに対する減量治療の基本は生活習慣の見直しであり、食事療法と運動療法が主要な位置を占めています。この際、単なる体重減少では無く、骨格筋量を維持しながら体脂肪量を減少させる「質を伴った減量」が重要となります。骨格筋量の減少はサルコペニア肥満のリスクを高め、健康寿命の延伸を阻害する因子となるため、肥満症患者の栄養指導においては、この点に十分に注意を払う必要があります。 そこで、東北労災病院において栄養指導を行った肥満症の患者さんに対し、身体計測や体組成評価、その他栄養指標による栄養評価を行い、年齢・性別や肥満度、基礎疾患など背景因子との関連を検討し、肥満症患者に対する栄養指導の有用性と課題を明らかとすることを目的として、本臨床研究を計画しました。
研究の方法	本研究は、東北労災病院単施設の、後ろ向き観察研究(横断調査)の形で行われます。 1) 主要評価項目 栄養指導実施の前後における InBody を用いた体組成評価（体脂肪量、骨格筋量など）の変化について検討を行い、また背景因子ごとの差異についても検討を行います。

	なお背景因子としては、年齢・性別、肥満度、基礎疾患等を用いる予定です。 2) 副次的評価項目 栄養指導実施前後における身体計測値（身長、体重、下腿周囲長、AMC、TSF 等）や血液生化学所見等の栄養指標の変化について検討を行います。背景因子ごとの差異についても検討を行います。また、肥満症治療の成果、および肥満症に対する薬物治療の内容、肥満症に対する減量手術実施の有無についても検討を行います。 3) 研究対象者の情報（診療情報など）については、肥満症外来や栄養指導の記録および診療録から適宜入手しつつ研究を遂行します。 なお、データの集積と解析は、研究責任者の所属施設である東北労災病院大腸肛門外科にて行います。
外部への試料・情報の提供	今回の研究では、外部への情報の提供を行うことはありません。
研究組織	研究責任者： 高橋賢一 東北労災病院 大腸肛門外科第一部長、栄養管理部長 研究分担者： 大場美都希（東北労災病院 栄養管理室 栄養士） 友廣美里（東北労災病院 栄養管理室 主任栄養士） 斎藤南美（東北労災病院 栄養管理室 栄養士） 加藤麻実（東北労災病院 看護部 看護師）
個人情報の取扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。この研究にご自身の情報を使用してほしくない方は当科の意思にお伝えください。研究にご協力いただけない場合でも皆様の不利益につながることはありません。またこの研究に参加することで得られる利益もありません。ご不明な点があればお問い合わせください。
本研究に関する連絡先	（診療科名）東北労災病院 大腸肛門外科 （実務責任者）高橋賢一 [電話] 022-275-1111（平日 9～17 時）